

新たな北海道総合計画について

策定趣旨

- 社会や経済の大きな変化に直面
(エネルギー・食料の安定供給等)
- 人口減少・少子高齢化の進行
(地域の担い手不足の深刻化等)

本道の**ポテンシャル**を活かし、
国内外の新たな需要を取り込む
持続的発展につなげることが重要

令和6(2024)年度
から概ね10年間

新たな総合計画を策定

(道民の皆様等と連携し、共に行動していくための指針)

< 策定経過 >

- 北海道総合開発委員会における審議
- 個別訪問による意見聴取(市町村、高校生・大学生、地域住民等)
- 文書による意向調査(道民、市町村、企業、団体)
- パブリックコメントの実施(こども意見募集も併せて実施)

めざす姿

北海道の力が日本そして世界を変えていく
一人ひとりが豊かで安心して住み続けられる地域を創る

政策展開の基本方向

基本方向1 潜在力発揮による成長

本道の特性やポテンシャルを北海道の力に変え、北海道自らが発展するとともに、**日本そして世界の発展を牽引していく**

食

デジタル

観光

ものづくり・成長分野

ゼロカーボン

産業活性化・業種横断分野

基本方向2 誰もが可能性を発揮できる社会と安全・安心な暮らし

人口減少の進行や地域社会の縮小に直面する中、**道民の暮らしを守り、次の世代に引き継ぐ**

子ども・子育て

就業・就労環境

教育・学び

中小企業・商業

医療・福祉

安全・安心

基本方向3 各地域の持続的な発展

道内各地域の特性とポテンシャルを活かした持続的な発展を、**本道全体の発展につなげていく**

地域づくり

社会経済の基盤整備

グローバル化

自然・環境

北海道の強靱化

歴史・文化・スポーツ

地域づくりの基本方向

個性と魅力を活かした地域づくり

- 地域の特性・優位性や豊かな地域資源の活用
- 振興局と市町村が一体となった取組の推進

様々な連携で進める地域づくり

- 道内外の多様な主体との連携・協働の推進
- 地域相互の連携・補完の推進

計画の推進

- 特定分野別計画・重点戦略計画・地域計画と一体的に推進し、実効性を確保
- 市町村や関係団体の皆様と連携を強めながら取組を推進

点検・評価

毎年度の点検・評価

- 政策評価を通じた指標や施策の状況把握
・政策の方向性ごとに108の指標を設定
- 重要モニタリング指標や、社会経済情勢も含め多角的に分析

中期的な点検・評価

毎年度の点検・評価結果や、政策の中間目標の達成状況をもとに実施

普及

学 校	ディスカッション、ワークショップなどの実施
市町村・住民	地域説明会の開催
企業・団体	包括連携協定締結企業などへの周知、出前講座の実施
そ の 他	PR動画の配信、道公式SNS、広報紙などによる情報発信 など

後志地域における政策展開方針について

策定趣旨

- ・ 新たな「北海道総合計画」のスタート (R6.7~)
- ・ 人口減少対策に係る「次期北海道創生総合戦略」の策定 (R6年度中)



総合計画などが示す基本的な方向に沿って効果的に地域振興を進めるため、
今年度中に次期「連携地域別政策展開方針」を策定

構成

① はじめに	基本的な考え方、位置づけ、構成、推進期間
② 地域のめざす姿	総合計画の推進期間内にめざす地域の姿
③ 地域を取り巻く状況	人口、経済・産業の動向など、地域の現況(地域性を表すデータ)
④ これまでの取組と課題	現行の政策展開方針におけるこれまでの取組と課題
⑤ 主な施策の展開方向	今後5年間程度の主な施策の展開方向
⑥ 地域重点政策ユニット	主な施策の展開方向に沿って重点的に取り組むプロジェクト
⑦ 方針の推進	推進の考え方、推進管理体制

地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト(案)

目的

自然景観や地域の文化の組み合わせによるアドベンチャートラベルや、ワインをはじめ多様な食資源を活かしたツーリズムの推進など、地域ならではの優れた地域資源を十分活用し、旅行者の滞在期間の延長や観光の通年化、広域化を図り、持続可能な観光地域づくりを推進する。

施策

■ 後志地域の自然景観や食資源を活用した広域観光の推進

- 農業・漁業体験など一次産業や食品加工業を始めとする二次産業と観光事業者との連携による「食」を活かした魅力ある観光地づくり
- 自然景観や食などの地域資源を活用した広域観光の推進

■ ウィンタースポーツをはじめ、サイクリング、ラフティングなどのアクティビティや地域の文化等の組み合わせによるアドベンチャートラベルの推進

- インバウンド受入体制の充実
- 官民協働による国内外でのプロモーション展開 など

■ 地域の観光ビジネスで活躍できる国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成

- インバウンド受入体制の充実
- 商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成

■ 地域の稼ぐ力を引き出す管内のDMOとの連携

- 北後志地域やニセコ地域を核とした周辺地域への広域化や観光消費の拡大
- DMOとの連携によるプロモーションや情報発信

■ 新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進

- 宿泊地(ハブ)と周辺の地域(サテライト)が連携した、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
- シーニックバイウェイ北海道の推進
- 地域交通ネットワークの充実・確保
- 広域観光の推進
- インバウンド受入体制の充実
- 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

これまでの主な取組・成果

■ 酒と食をテーマとした広域観光推進会議の開催[振興局・後志観光連盟]

概要: 後志管内の豊富な食資源と豊かな景観や温泉など優れた観光資源を組み合わせた観光誘客と長期滞在を目指した会議を開催

■ 後志管内ATコンテンツ磨き上げに向けたインフルエンサーの招へい[振興局・ニセコリゾート観光協会]

概要: 2023年に北海道で開催されるアドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)を踏まえ、ATWS初日に開催される管内の日帰りツアーコース等に外国人インフルエンサーを招へいツアーを体験してもらうことにより、コンテンツの磨き上げや情報発信を実施

インフルエンサーによる投稿記事



多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト(案)

目的

労働者の通年雇用化や若年者への地元企業の魅力発信等による**人材の流出抑制、移住・定住施策と一体となった人材誘致、グローバル人材の育成や多文化共生の推進**、地域公共交通の利用促進や運転手確保などによる**地域交通ネットワークの維持**、再生エネルギーの活用や森林づくり、地域住民等のカーボンニュートラルに対する更なる意識醸成などを通じた**環境と調和した地域づくり**を推進する。

施策

■ 冬季に偏在する労働者の通年雇用化、学生と地元企業のマッチング支援や学生に対する情報提供を通じた**地元定着の促進**

- 無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
- 若年者に向けた地元企業説明会等の開催

■ 国際感覚やコミュニケーション能力を備えた**グローバル人材の育成、多文化共生の推進**

- 多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や外国語実践機会等の創出
- ShiriBeshi留学などを通じたグローバル人材の育成
- 市町村と連携した多文化共生の場の提供

■ 市町村と連携し、移住定住施策と一体となった**人材誘致**

- 移住フェアなど後志をPRする場への出展等
- SNS等による情報発信

■ **地域公共交通ネットワークの維持支援**

- 市町村と連携したバスの運転手確保の取組支援
- 公共交通利用促進のための広報活動

■ 地域住民等の**カーボンニュートラルに対する意識醸成**

- 地域住民等を対象とした出前講座の実施をはじめとした啓発活動

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi留学の実施[町、民間、振興局]

概要:道内外の大学生等が、リゾート関連企業でのインターンシップや、地域の方々との交流を通じて学ぶ人材育成プログラム。サマープログラムとウインタープログラムを開催

■ 若者向け合同企業説明会の開催[振興局]

概要:後志教育局などの関係機関と連携し、管内の高校生を対象として、将来ビジョンを描くためのキャリア教育を実施
また、職業選択の視野を広げる一助として、地元企業の概要や仕事の内容を周知することで、地元での就業促進を図るとともに、勤労観などを形成することで就職後の早期離職の抑制を図ることを目的として開催

ShiriBeshi留学の様子

